

Grand Toit News

グラントワニュース

vol. 79
Autumn 2024



企画展紹介 「古代出雲から宇宙世紀まで、
人々の息づかいと
壮大なドラマを『描く人』」

劇場事業紹介 「20周年へ繋げる舞台芸術の魅力」

●特集 グラントワ開館19周年感謝祭
「きんさいデー」、今年もきんさい!

●「グラントワのおすすめ」
島根県内各地のビッグバンドが、
はじめて益田に集結!

10月13日(日)
石見美術館を
終日無料!



図1 『機動戦士ガンダムIII めぐりあい宇宙編』(シャアとアムロの決闘)原画 © 創通・サンライズ

古代出雲から宇宙世紀まで、 人々の息づかいと 壮大なドラマを 「描く人」

企画展「描く人、安彦良和」について、
展覧会担当の川西由里専門学芸員に
みどころをうかがいました。

安彦さんの作品に初めてふれる
方に、おすすめの見方を教えて
ください。

それぞれのアニメや漫画を知ら
なくても、「絵」として魅力的
な作品ばかりです。生き生きと
した人物の動きや表情を楽しみ
ながら、第一印象で好きなキャ
ラクターを見つけたら、次はア
ニメを観たり漫画を読んだりし
てほしいですね。

安彦さんは動物を描くのも達
者で、特に馬の躍動感に素晴ら
しいですよ。それから、透明水
彩の美しい色彩でいどられた
漫画『ジャンヌ』『イエス』は、
西洋絵画が好きの方にもおすす
めです。千数百点もの作品が並
びますので、ファンも初心者も
「安彦ワールド」に耽溺してい
たいです。

安彦良和さんといえば『機動戦
士ガンダム』を思い起こして胸
が熱くなる方も多いと思いますが、
アニメの世界ではどんなお
仕事をされてきた方ですか?

1947年、北海道遠軽町に生ま
れた安彦さんは、子供の頃から
絵が好きで、漫画家に憧れてい
たそうです。1970年に手塚治虫
さんの虫プロダクションの養成
所に入ったことからアニメの道
へ進みます。その後、『宇宙戦艦
ヤマト』『勇者ライディーン』な
どに参加して注目を集めました。

そして1979年、『機動戦士ガ
ンダム』で一躍人気アニメーター
となります。安彦さんはキャラ
クターのデザインに加えてアニメ
の命である「動き」を支える仕

事をしました。図1は「原画」と
よばれる、映像の元となる絵で
す。左側で身をかがめるシャア
の顔はマスクに覆われて見えま
せんが、跳びすぎるアムロを睨
みつける気迫に満ちているのが、
姿勢から想像できます。

この1枚だけでも動きが感じら
れますね!

さらに映画の宣伝ポスターや
レコードジャケット用に作品を
象徴する重厚なイラストを描き
下ろし、それまで玩具の延長で
「子供向け」と考えられていたア
ニメに、芸術的な要素を加えた
人でもあります。

一方、漫画家としても活躍さ
れていて、自身の漫画『アリオン』

『ヴィナス戦記』を監督としてア
ニメ化されました。

アニメと漫画、両方で活躍され
るって、すごいですね。

どちらも「絵」の表現ですが、
動きやセリフ(音声)でキャラク
ターに芝居をさせるアニメと、
静止画の連続で物語を表す漫画
とは、表現方法が全く異なります。
また、多くのスタッフが関
わり工程も複雑なアニメに対し、
漫画は作家の自由度が大きいと
いう点も違いますね。

ギリシャ神話を題材とした『ア
リオン』で漫画家デビューを果
たしたのが『機動戦士ガンダム』
の放送と同じ1979年というの
は、驚くべきことです。

島根を舞台にした作品もあるん
ですね?

漫画『ナムジ―大國主―』は出
雲大社のご祭神である大國主命
(別名、大己貴命)が主人公のモ
デルで、続く『神武』(図2)はその
息子、ツノミが神武天皇を支え
る物語です。どちらも記紀(『古
事記』と『日本書紀』)を題材とし、
古代出雲が描かれています。

安彦さんは記紀の記述を読み
解いて古代のダイナミックな国
造りを想像し、個性豊かなキャ
ラクターたちが勢力争いや恋愛
を繰り広げる壮大なドラマを描
きました。島根の皆さんには神
楽などでおなじみの物語がどう
描かれたか、ぜひ読んでみてほ
しいです。

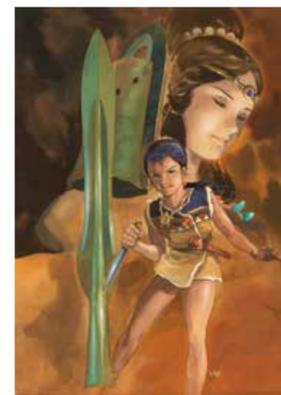


図2 『神武』口絵イラスト原画 © 安彦良和

安彦良和 描く人

Yasuhiko Yoshikazu
Divine Animator and Draftsman

『機動戦士ガンダム』『アリオン』
『巨神ゴッグ』『ナムジ』『虹色のトロツキー』
…古代、近代、そして宇宙世紀まで
歴史と神話を描く



【開館時間】9:30-18:00(展示室への入場は17:30まで)

【休館日】毎週火曜日

会期中、一部作品の展示替があります。(前期:~10/28、後期:10/30~)

【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、毎日新聞社、BSS山陰放送 [企画制作]MBSテレビ
【企画協力】PANTOON [協力]アニメ特撮アーカイブ機構、潮出版社、NHK出版、科学映像館を支える会、
Gakken、KADOKAWA、九月社、講談社、スタジオぬえ、創通、中央公論新社、東映、東北新社、バンダイ
ナムコフィルムワークス、文芸春秋 [後援]芸術文化とふれあう協議会

【観覧料】当日券/一般:1,000(800)円、企画・特別・コレクション展セット1,150(920)円
大学生:600(450)円、企画・特別・コレクション展セット700(530)円
小中高生:300(250)円、企画・特別・コレクション展セット300(250)円
前売券/企画・特別・コレクション展セット900円

●()内は20名以上の団体料金 ●小中高生の学校利用は入場無料 ●各種障がい者
手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方およびその介助者(1名まで)は入場無料 ●前売券
はローソン各店(コード63980)、グラントワ総合案内カウンターおよびオンラインチケッ
ト「シマチケ」(WEBサイト)でお求めになれます *ローソン各店、グラントワ総合案内カ
ウンターでの前売券の取扱いは開館前日まで



オンラインチケット
「シマチケ」

【関連プログラム】

◆開催記念イベント「機動戦士ガンダム クルルス・ドアン」上映会
アフタートーク 安彦良和(監督)×山根公利(メカデザイン)
9月21日(土) 13:30~16:30(13:00開場) [上映108分、トーク約50分]
会場:小ホール *チケット販売等の詳細は当館ホームページでお知らせします

◆安彦良和の神在月歴史談義

「ナムジ―大國主―」「神武」など古代出雲の物語から、「王道の狗」など近代日本の戦争を扱った
作品まで、様々な時代を描いてきた歴史漫画家・安彦良和が、島根の地で歴史について語ります。
11月3日(日) 14:00~15:30
聞き手:若槻真治(戦後史会議・松江世話人代表)
会場:多目的ギャラリー/定員:70名(事前申込制)/無料(ただし企画展観覧券またはミュージアム
パスポートが必要) *申込方法は当館ホームページでお知らせします

島根県芸術文化センター 島根県立石見美術館
「グラントワ」内

20周年へ繋げる 舞台芸術の魅力

令和7年度に開館20周年を迎えるグラントワ。

記念の年に向け、いわみ芸術劇場では今年も多彩な舞台芸術をお届けします。



圧巻のステージをぜひ堪能ください。

また、2月には2021年ショパン国際ピアノコンクール2位の反田恭平氏率いる「反田恭平 Japan National Orchestra 2025 冬ツアー」の開催など、一流アーティストの演奏をホールでお楽しみいただけます。

臨場感ある公演を体感

音源では味わえない、臨場感あるアーティストの生の歌声を楽しむポップス公演も開催します。

11月には、その歌唱力と楽曲でファンを魅了する歌手ASKA公演を開催。ポップスからバラードまで幅広い楽曲を深い歌詞とメロディアスな音楽にのせてお届けします。

1月には沖縄在住4人組バンドHY公演を開催。NHK連続テレビ小説やドラマ主題歌などを担当する彼らの最大の魅力がライブです。幅広い世代に届く楽曲と、会場でしか味わえない親近感あふれるライブパフォーマンスにご期待ください。

20周年という節目の年に向けて、劇場の魅力を堪能できる多彩な公演をお届けしますので、ぜひご来場ください。



25周年ツアーを開催するHY

ホールを響かせる

7月には、新日本フィルハーモニー交響楽団による「フルートと弦楽で贈るアンサンブルコンサート」を開催。チャイコフスキー「弦楽セレナーデ」や、島根県出身の首席フルート奏者である野津雄太氏をソリストに迎えたモーツァルト「フルート協奏曲第2番」など、時代を超えて愛されるクラシックの名曲を豊かなホールで味わえる公演をお届けします。

9月には、国内外で活躍し、様々なミュージシャンと共に魅力的な音楽を発信するジャズピアニスト・大西順子氏率いるカルテットの初めての島根公演を開催します。日本で最も有名なジャズクラブのひとつである東京・南青山の「ブルーノート東京」サポートにより実現しました。卓越した演奏技術と表現力による

舞台芸術の魅力を感じる

劇場での鑑賞体験は、豊かな音色や多彩な照明、臨場感あるパフォーマンスなどで創造的な非日常空間をお楽しみいただけます。今年度のいわみ芸術劇場は、リアリズム美を追求した演出の劇団四季のミュージカル「ジーザス・クライスト＝スーパースター」公演をはじめとし、クラシック公演、ジャズ、ポップスなどの音楽、地元出演者を中心とした演劇、フランチイズ団体や伝統芸能の公演など多彩なジャンルをお届けします。



大西順子カルテット公演 ©三浦興一

LIFE with グラントワ

光は空間を満たす
水のようなもの

東京都にある会社で、主にドイツの照明器具メーカー・エルコ社の照明製品販売や展示照明のお手伝いをしています。開館当初から展示照明を採用いただき、かれこれ20年以上お付き合いをさせていただいています。展示照明調整をお請けする際、特に気を付けていることは展示の意図(作品や作家含む)について理解

をすること、そして、展示空間を来館される方にとってストレス無く純粋に楽しめる場所にするということです。そのためには独りよがりにならず、常に美術館の皆さんと話し合い、色々な人の意見や感想を伺い試行錯誤して実践してみることが必要です。光は人が何かを見る上で必要不可欠なものです。光が無ければ何も見えず、ただ明るいだけでもきちんと作品は見えません。手で触れられないものだからこそ時間の許す限り丁寧に仕事をするよう心がけています。

【ライトアンドリヒト 代表取締役 増澤大助】

PICK UP EVENT



**益田糸操り人形
グラントワ定期公演**
2024年8月24日(土)
開演 13:30 (開場 13:00)
小ホール

島根県の無形民俗文化財である「益田糸操り人形」は、遣い手が歩み板の上から、人形の各所に13～18本ほどの糸が繋がった、四つ目と呼ばれる手板を使って人形に微妙に動きを与えるもので、このように古い形態をとどめたまま上演されるのは、わか国で現在上演されている糸操り人形の中で唯一無二のものといわれています。益田市で長年受け継がれてきた伝統芸能を、ぜひご覧ください。

※公演の詳しい情報は、本ページ下の広告欄をご覧ください。

劇・場・を・探・る



【ケータリング】

舞台の制作現場で用意される、出演者やスタッフの食事や茶菓子のことを指します。「各自で用意しないの?」「外食しないの?」と思われる方も多いかと思いますが、出演者は本番に向け集中するため、スタッフは開場までのクオリティアップのため、外出を避け、劇場の中で完結したいという理由からケータリングが用意されます。

今回は「ゲネプロ」です。

劇団四季

衝撃のロックオペラがグラントワへ!

キリスト最後の7日間を描く、劇団四季ミュージカルの原点

JESUS CHRIST SUPERSTAR

ジーザス・クライスト＝スーパースター
[エルサレム・バージョン]

2024年
8月22日(木)

いわみ芸術劇場
大ホール 開場 17:45 / 開演 18:30

入場料 [全席指定・税込] ※未就学児入場不可
S席 10,000円 A席 8,000円 B席 6,000円

チケット好評発売中

益田 島根県無形民俗文化財指定

糸操り人形

グラントワ定期公演

地域で受け継がれてきた伝統芸能、益田糸操り人形。古い形態をとどめた全国的にも貴重な人形芝居の公演を、ぜひグラントワでご鑑賞ください。

チケット好評発売中

2024年8月24日(土)

いわみ芸術劇場小ホール 開場 13:00 開演 13:30

演目 御所桜堀川夜討 弁慶上使の段 ほか
人形と三味線の解説あり

入場料 [全席自由・税込]
[一般] 前売 500円 当日 600円 高校生以下 無料
※無料託児サービスはありません。

進化を続ける
大西順子カルテットが
グラントワ初登場!

JUNKO ONISHI
QUARTET

Supported by Blue Note Tokyo
大西順子 p / 井上陽介 b / 吉良剛太 ds / 大儀見元 per

チケット好評発売中

2024.9.28(土)

いわみ芸術劇場大ホール
開場 14:15 / 開演 15:00

入場料 [全席指定・税込] ※未就学児入場不可
[一般] 前売 4,500円 当日 5,000円
18歳以下無料(同伴者 2,250円)
※上限、条件あり。詳細はHPをご覧ください。

ビッグバンド
フェスティバル島根

Big Band Festival Shimane

2024.11.24日

いわみ芸術劇場小ホール

管楽器を中心に編成され主にジャズを演奏するビッグバンドが、島根県全域から初めて益田に集結。客席と一体になり空間をハッピーにするビッグバンドサウンドをぜひお楽しみください!

開演時間、入場料、チケット発売日等、詳しい内容は決まり次第、HP等でお知らせします。

グラントワ開館 19 周年感謝祭

「きんさいデー」、今年もきんさい!



オロチくん登場

2024
10/13
10:00 START!

毎年恒例のグラントワ開館記念感謝祭「きんさいデー」。昨年の「きんさいデー」はしっかり感染対策をしたうえで、4年ぶりに全館をあげて開催しました。今年もスタッフがアイデアを出し合い、様々な企画を計画しています。当日はどんな「きんさいデー」になるのか、お楽しみに!

美術館を終日無料開放!

好評いただいているきんさいデーの恒例企画、石見美術館の終日無料開放。今年も、すべての展示室に終日無料で入場して頂くことができます。当日開催している展覧会は、企画展「描

く人、安彦良和」、特別展「石見生まれのメカデザイナー 山根公利」、コレクション展「しぐさからみる美術」です。ぜひこの機会に美術館でゆっくり作品にふれ文化芸術の秋をお過ごしください。

石見美術館の終日無料開放(昨年の様子)



きんさいデー当日の中庭広場



グラントワ開館 19 周年感謝祭「きんさいデー」※小雨決行
2024年10月13日(日) 10:00～ [料金]入場無料(飲食等一部有料)

グラントワをもっと知ろう!

「きんさいデー」は、グラントワが開館した2005年10月にちなみ、皆様にもっとグラントワを知っていただきたい、グラントワでしかできない体験をお届けしたいという思いで開催してきました。19回目となる今年、グラントワにまつわるクイズや会員様向けの特別企画なども予定しています。その他、様々なものづくりが体験できる各種ワークショップなど大人も子どもも楽しんでいただける内容を企画中です。

美味しいグルメが大集合!

グラントワ提携店をはじめ地元飲食店の方たちが自慢のグルメやスイーツを提供する「きんさい食堂」。毎年たくさんの方に楽しみにしていただいている大人気企画です。当日、中庭広場には、秋の食材や地元の新鮮な食材を使ったメニューが並ぶ予定です。青空の下で風と赤瓦に包まれながらお腹いっぱいしてください。

今年の秋は「グラントワ」で楽しいひとときを!皆様のご来館をお待ちしております。

Grand Toit's RECOMMENDATION

グラントワのおすすめ



島根県内各地のビッグバンドが、はじめて益田に集結!

11月24日(日)、音楽の秋にぴったりのイベント「ビッグバンドフェスティバル島根」がグラントワ小ホールにて開催されます!

企画したのは、益田市を拠点に活動する「スウィングフェニックス」の皆さん。2001年に初めて参加した広島ビッグバンドフェスティバルで他バンドのレベルの高さに衝撃を受け、その後2005年にグラントワで開催された「中四国文化の集いクリスマスジャズフェスティバル」にも参加。そこで近隣各県のアマチュアジャズ系バンドに多く出会ったことがきっかけで、いつかバンドが一堂に集い情報交換や交流できる場をつくりたい、という思いを温めてきました。

個性的なアドリブソロ、重厚で迫力のあるユニゾンなど、ビッグバンドならではの多彩な表現をぜひこの機会に味わってみてください!

※開演時間・入場料・チケット発売日など、詳細は決まり次第HPなどでお知らせします。

スウィングフェニックス
Swing Phoenix

昭和45年(1970)市内のプラスバンド部出身者4人で結成。現在のメンバーは益田市・津和野町・浜田市在住の15名で、毎週月・木曜の夜に練習。益田市成人式・ますだ祭り・産業祭・結婚式・企業のパーティーなどで演奏。10年ごとの区切りの年に結成記念コンサートを開催。広島ビッグバンドフェスティバルやグラントワスプリングジャズフェスタにも出演。平成15年から始まったJR益田駅前の「マルブク」での年4回のライブコンサートは16年継続した。

美術館に きんさいデー ようて



山根公利
『ソードフィッシュII 2022』
2022年 ©サンライズ

特別展
「石見生まれのメカデザイナー 山根公利」
9月14日(土)～
12月2日(月)
会場:展示室B

特別展「石見生まれのメカデザイナー 山根公利」について、担当学芸員の川西由里さんにきいてみました。

Q1. メカデザイナーというのは、どんなお仕事ですか?

山根さんのお仕事はアニメに登場するロボットや宇宙船などの乗り物の造形デザインです。作品の顔となる重要なポイントですね。一方、操縦席や宇宙船内部の操作盤やシートなど細部のデザインも手がけ、キャラクターの芝居を左右する大切な役割も担っています。

Q2. 特別展ではどんなものが展示されますか?

『カウボーイビバップ』『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』『機動戦士ガンダムSEED』など人気作品のメカのデザイン画や、カラーイラストです。鉛筆による精緻な線画は、ドローイングとしても見ごたえがありますよ。企画展を同時開催する安彦良和監督からの指示など、制作過程が分かる資料も紹介します。

The 石見美術館 わたしのおすすめ Collection

主任学芸員 角野広海

安土桃山時代に石見国益田(現在の島根県益田市)を治めた益田元祥(1558～1640、益田氏20代当主)の肖像画です。元祥は永禄11年(1569)毛利元就から「元」の一字を与えられ、「元祥」と名乗りました。その後は天正元年(1573)に初陣して以来、度々の合戦に功名をあげ、関ヶ原の合戦の後には毛利輝元に従って長門の須佐に移りました。

馬に乗り手綱をとる甲冑姿の武将像は「甲冑騎馬像」と呼ばれており、この絵は安土桃山時



狩野松栄
《益田元祥像》

安土桃山時代 当館蔵 重要文化財

代の希少な甲冑騎馬像として国の重要文化財に指定されています。作者は16世紀に画壇の中心に成り上がった狩野派の3代目、狩野松栄です。松栄は、益田氏と婚姻関係にあった吉川氏の当主・吉川元長の肖像画(吉川史料館蔵)も描いています。

数々のミリオンヒット曲を世に送り出してきたASKAによる全国ツアー!
会場を圧倒する力強い歌声をぜひお楽しみください!

2024.11.23 土祝
いわみ芸術劇場大ホール

入場料 [全席指定・税込] ※未就学児入場不可
[一般]S席 12,000円 A席 9,000円
[学生(中学生、高校生)] ※当日学生証提示でキャッシュバック
S席 12,000円(当日 5,000円キャッシュバック)
A席 9,000円(当日 4,000円キャッシュバック)

ASKA

Travel TV presents
ASKA CONCERT TOUR 2024≫2025
WHO is ASKA!?

9月14日(土) チケット発売

石見美術館コレクション展

コレクション展
しぐさからみる美術
9月14日(土)～10月28日(月)
描かれた人や動物の「しぐさ」にどんな意味が込められているのかに注目し、当館の所蔵品を紹介します。

展示室 A

コレクション展
中世益田と美術
10月30日(水)～11月25日(月)
※「The Collection わたしのおすすめ」参照

等碩(牧童圖)室町時代後期

特別展
石見生まれのメカデザイナー 山根公利
9月14日(土)～12月2日(月)
※「美術館にきてみよう」参照

展示室 B

『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』ホワイトベース 2013年 ©創通・サンライズ

『エスカフローネ』エスカフローネ 1999年 ©サンライズ・バンダイビジュアル

メンテナンスのため、9月8日(日)から9月13日(金)まで全室閉室します。

・懐かしいタイトルの絵本の数々楽しく拝見しました。私も絵本が大好きでいろいろなお話を子どもたちに聴かせました。子どもだった娘も今は母親となり、もうすぐ1歳になる我が子に絵本を読み聞かせています。(山口県・60代/企画展「堀内誠一 絵の世界」)
・初めてヴァイオリンやチェロなど弦楽器の演奏体験をさせてもらい、きれいな音がしてとても楽しかったです。生演奏も感動しました。(益田市・小学生/学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業(山陰フィルハーモニー管弦楽団))
・今年から息子が吹奏楽を始めたことで、今回の音楽祭を聴きました。とても素晴らしい演奏で、息子にもトランペットを続けてほしいと思いました。(益田市・40代/「いつでもどこでも音楽祭 石見のトランベッター 三重奏の響き」)

Grand Toit & / リレーでコラム 13

川茂伸 (いわみ芸術劇場舞台技術振興課主任)

毎号、職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。
第13回は、舞台技術振興課主任・川茂伸さんです。

皆様、こんにちは！
グラントワは来年、開館20年を迎えます。これまで多くの皆様にはご来館、ご利用頂きありがとうございます。

私とグラントワの出会いは今から14年前、ミュージカルの手伝いで訪れたのが初めてでした。「すごい!、建物の外観を見て感激。ワクワクしながら自動ドアを抜けると、目の前に広がる水盤に、またまた感激!劇場に入る前から、見所満載でなかなかステージにたどり着けなかった事を思い出します。

突然ですが、皆様のグラントワの推しはどこですか? 私の推しは、グラントワの特徴の一つでもある中庭の水盤です。「劇場ではないのか?」と声が聞こえてきそうですが、水面に映る建物、常に違う表情が見られる水面は見ていて安らぎますし、特に風による水面の変化は面白いです。

グラントワは、感動・喜び・安らぎを感じる事ができる場所が多くあります。先日開催された、美術と舞台芸術の総合企画「ミュージア」もその一つです。今回は大ホール舞台上に客席を設置し、演奏者とより近いところで楽しんで頂ける様に、いつもと違うスタイルで行いました。

これからも、グラントワに「来て」・「観て」・「聴いて」・「感じて」頂きたいです。まだの方はぜひ一度お越し下さい。お待ちしております。



大ホール舞台上に設置された客席

次回は畑山経弘さん(グラントワ副センター長)の予定です。

報告します!

ミュージア vol.22

企画展「111年目の中原淳一」

関連プログラム

音楽会「美しい暮らし、明日へのメロディー」



当日の様子

中原淳一が雑誌「ひまわり」の読者のために開催していた音楽と舞踊の会「ひまわりの集い」から着想を得て、アコーディオンかとうかなこ、ギター岡崎泰正、ヒューマンビートボックスSiMAを招いて開催。フランス在住経験のあるかとうさんのお話や学芸員による説明も交えて、「ひまわりの集い」で紹介された曲や中原がパリ滞在中に流行していたシャンソンなどを演奏しました。近隣だけでなく九州、関西、関東からもお集りいただき、大ホール舞台上の近い距離でアコーディオンやギターの音色、ビートボックスのリズムを聴き、中原淳一のメッセージをより深く感じてもらえました。

参加者の感想

百年前のアコーディオン、澄んだとてもよい音でした。ステージ上で聴く音楽とてもよかったです。(津和野町・70代以上)

企画展関連プログラム
「グラントワ・マルシェ2024」



当日の様子

5月3日、企画展「111年目の中原淳一」に合わせマルシェを開催しました。食のブースではキッチンカーが初登場。他にも、身近にあるものを使って工夫して様々なもの作りが体験できるワークショップや、中原が過ごしたパリにちなんだシャンソンライブなど、楽しい企画が盛りだくさんで、会場は多くの家族連れなどで賑わいました。

学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業



当日の様子

地域の学校に出向いて行う学校アウトリーチ事業が今年もスタートし、落語家の桂歌若さんに津和野中学校で公演をしていただきました。

生徒の皆さんは、落語の「平林」を聞いた後、津和野にちなんだ「SL」「源氏巻き」などをお題になぞかけにも挑戦。会場に笑い声が響き、楽しいひとときとなりました。

グラントワ通への道

Q. 先日、グラントワへ行ったら足場が組んでありました! 何か工事をしていたのですか?

A. ご覧になられた足場は、屋根の防水工事のために組まれていたものです。グラントワと言えば石州瓦の切妻屋根が象徴的ですが、屋根の見えない箱状の部分は人が歩けるフラットな屋根になっています。今回は建物を長く使うため、シート防水という工法で改修工事を行いました。



読者プレゼント

石見美術館 企画展
「描く人、安彦良和」
招待券をペア10組様に
プレゼント!



毎号抽選でチケットやオリジナルグッズなどをプレゼントします。ぜひご応募ください!

■申込方法 ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、本号の「Grand Toit News」の感想をご記入の上、8月31日(土)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailのいずれかでご応募ください。【あて先】〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」『Grand Toit News vol.79 読者プレゼント』係・FAX: 0856-31-1884・e-mail: g-present@cul-shimane.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

オリジナルパーティーを演出いたします。

ポニイ特製

パーティーやイベント、クリスマス、ウェディングや忘年会などシーンにあわせて特製のオードブルを、ご予算とご要望にあわせてご提案。ケータリングサービスも可能です。ひとつひとつスタッフが腕によりをかけて創り上げるポニイ特製のオリジナル・オードブルで、素敵なお時間を演出してみませんか?



詳しくはポニイまでお問い合わせください。

Restaurant Pony

■営業時間 ※イベントにより変更あり夜は予約のみ
11:30~16:30 (14:00~カフェタイム)
■店休日 / 毎週火曜日、年末年始
■TEL / 0856-31-1873

www.restaurant-pony.com/

コンアモノ一押し!
(作画・川崎麻央)
石見神楽手ぬぐい
※写真はイメージです。



十二支 恵比須
2,500~3,500円(税別)

企画展 Yasuhiko Yoshikazu Divine Animator and Draftsman

期間限定販売
2024年9/21(土)~12/2(日)
企画展「描く人、安彦良和」にちなんだ関連グッズを期間限定で販売いたします。展覧会とあわせてお楽しみください。

MUSEUM SHOP con amore

■営業時間 / 9:30~17:00
■店休日 / 毎週火曜日、年末年始
■TEL / 0856-31-1874

www.grandtoit.jp/shop/

Follow Us!

最新の情報をいち早くお知らせ



「グラントワ」公式 Facebook



@grandtoit.jp



「石見美術館」公式 Instagram



@iwamiartmuseum



「グラントワ」公式 X



@grand_toit



「グラントワ」公式 YouTube



@grandtoit

「石見美術館」で開催されるバラエティ豊かな展覧会や関連プログラム、「いわみ芸術劇場」で開催されるコンサート、演劇、イベント情報をはじめ、「グラントワ」に関する様々な最新情報を随時更新中。

編集後記

■内藤展で改めてグラントワの建築の素晴らしさを実感。ジャズなど多彩なコンサートでぜひ大ホールの音響の素晴らしさをご体感ください! [T.V]

■先日、グラントワの裏手でホタルが飛んでいるのを目撃。もっと山間の水のきれいなところにいるものだと思っていたので、驚きでした。[K.N]

■照明の空間演出は美術館でも大事な役割をはたしています。「LIFE with グラントワ」で、美術館の照明に携わる方のお話が聞けて興味深かったです。[T.V]

■関東から益田に越してきてから、早3か月が経とうとしています。自然が魅せる様々な表情に日々新鮮な驚きがあり、楽しい毎日です。[O.H]

INFORMATION

■開館(利用)時間
※グラントワは8:45から開館
石見美術館 9:30~18:00
(展示室への入場は開館30分前まで)
いわみ芸術劇場 9:00~22:00

■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)
※催しに合わせて休館日を変更する場合があります。
石見美術館 毎週火曜日、年末年始
いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始
※年末年始:12/28~1/3



交通案内
◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分
◎JR益田駅から徒歩15分
◎萩・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分
◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
◎JR新山口駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit

島根県芸術文化センター「グラントワ」

〒698-0022 益田市有明町5-15

TEL: 0856-31-1860 (代表)

FAX: 0856-31-1884 (代表)

e-mail: grandtoit@cul-shimane.jp

www.grandtoit.jp

広告

東京(羽田) 萩・石見 90分

鳥根県益田市にある
萩・石見空港を使って
お出かけしよう!

フライト情報、交通アクセス、
運賃助成制度など、詳しくは
「萩・石見空港」HPをご覧ください。

大阪季節便もご利用ください

大阪(伊丹) ⇄ 萩・石見 60分
※2024年8月10日~8月14日の5日間運行

萩・石見空港 登録はこちら
メルマガ登録 配信中

メルマガ登録者限定のお得な運賃助成(スポット助成)のほか、萩・石見空港に関するお得情報をお届けします。

お問合せ 萩・石見空港 利用拡大促進協議会
TEL 0856-23-0990 萩・石見空港